

小信中島連区

地域づくり協議会だより

* 発行者 小信中島連区地域づくり協議会広報広聴部会

「防災」について

小信中島連区自主防災会連絡協議会 会長 岩田 義夫

8月下旬、内閣府より南海トラフの巨大地震について、東海・東南海・南海地震が連動した際の被害想定が発表されました。マグニチュードは、世界最大規模の9クラス。最悪のシミュレーションで死者32万3千人、津波は広い範囲で高さ20メートル前後になるといいます。この報道に多くの方が衝撃を受けたことでしょう。しかし、そんなに気をもむ必要はありません。

なぜなら、数字が大きくなろうとも、個人でなすべき防災対策に大きな変化はないからです。少しでも耐震性の高い家に暮し、家具はできるだけ少なくし、残った家具はしっかり固定をする。防災の基本は変わりません。

この地域は、まず津波の心配はなく、避難が困難と判定されるような土地ではありません。家族を守り、安心して暮らせる地域であります。

まず、日頃から家庭でできる対策を考え、地震や風水害などの災害が発生したとき、あわてずに行動できるように「家庭で防災会議」を行い、次のようなことを話し合っておきましょう。

- ①. 家の中で一番安全な場所の確認
- ②. 非常持出品や非常食の保管場所の確認
- ③. 避難場所、避難経路の確認
- ④. 避難方法の確認
- ⑤. 家族間の連絡方法及び集合場所の確認

東海地震やゲリラ豪雨など、私たちの周りにはいつ災害が起きてもおかしくない状況にあります。各町内自主防災組織の防災リーダー養成が必要です。毎年、市では自主防災リーダー研修会を開催しており、今年も防災に関する基礎的な知識を学びました。

これからも、いざというときにリーダーとして行動できる人の養成研修会には多くの方々の参加をお願いします。



連区防災訓練

9月16日(日)自主防災会連絡協議会の主催で、イベント型防災訓練が小信中島小学校で参加者1,100余名で行われました。

火災・風水害・地震などの災害について認識を深め、これに対する心構え、防災知識の普及、災害に対する備えの充実強化を目的として、放水訓練・各種体験コーナー・普及啓発コーナーが設けられた皆さんの皆さんが参加しました。

今回は起震車による震度7の体験ができて、地震の怖さを再認識させられました。



交通安全マスコットづく



8月20日(月)小信中島女性ボランティアの10名の皆さんが、9月28日(金)に行われる防犯交通安全パレードのときに配布される「交通安全マスコット」を暑いなかで1,100個も作られました。

このボランティアグループはスタートして4年目ですが高齢者の行事の時に配布するきんちゃく袋や腕カバなども作り、地域の皆さんに少しでも喜んでもらえるように、また、自分たちの健康のために、和気あいあい談笑をまじえながら活動をしているとのことでした。



(交通安全マスコット)

光るどろだんごづくり

8月28日(火)公民館家庭学習部主催の親子ふれあい教室で「INAXライブミュージアム」の見学と光るどろだんごづくりの体験に総勢42名が参加しました。

常滑市にある陶器製品などをつくっている会社のミュージアムで、土管・焼き窯・タイル・便器の変遷などの展示品見学と、ものづくりの体験ができます。

参加者は「光るどろだんごづくり」に挑戦しました。指導を受けながら、どろだんごを丸く丸く削り、色づけをして、ピカピカに磨き、子どもも大人も楽しみながら完成させました。

帰宅後も、2週間、朝と晩に手のうでこころろして水分を抜くと出来上がりだそうです。



講座：骨まで愛して

9月1日(土)公民館成人学習部主催の成人教養講座「骨まで愛して～骨粗しょう症対策」の講座がつどいの里で大勢の参加者のもと開催されました。

骨のじょうぶな健康づくりは、カルシウムの吸収率の高い、牛乳・乳製品、小魚、野菜類の摂取が大切であることと、日光浴や運動など家族ぐるみの協力が非常に重要なことを再認識させられる有意義な講座でした。

ビーチボール教室



9月3日(月)公民館体育レクリエーション部主催のビーチボール教室が小信中島小学校屋内運動場で25名の参加で行われました。

ビーチボールとは、プールや砂浜などで遊びによく使うビニール製のフワフワのやわらかいボールを使つての4人制バレーボールのことです。

ルールも簡単で、やわらかなボールのため突き指の心配もなく行えます。

今回は主にパスとサーブの練習を行いました。

10月1日までに残り4回の教室が開催されますので、皆さんがさらにうまくなれることと思います。

理科実験教室

9月9日(日)公民館家庭学習部主催の親子ふれあい教室「実験で美味しい食べ物づくり」で綿菓子づくりに35名が参加しました。つくり方は、アルミの空き缶の下部に小さな穴をあけて、上部の中心に電動消しゴムのモーターをつなぎ、空き缶が回転するようにし、その空き缶にザラメ糖をいれて、囲いの中でアルコールランプで熱して缶を回転させるのです。

これで囲いの中に綿菓子が出来上がるのです。

子どもたちは、自分で作った道具で綿菓子が出来上がるのを不思議そうな顔でながめていましたが、綿菓子を口に入れた時には、満足そうな笑顔を見せていました。



10月 連区の行事

- ★高齢者教養講座 社会見学:岩村散策とアサヒビール見学 11日(木) 午前7時30分～午後5時30分
- ★女性の会 木目込 12日(金)、26日(金)、11月9日(金) 午前10時～12時 つどいの里
- ★公民館(家庭) 親子でマジックを楽しみましょう 13日(土) 午前10時～12時 つどいの里
- ★公民館(成人) 園芸講座:季節の寄せ植え 13日(土) 午後2時～4時 つどいの里
- ★公民館(女性) 実技:手作りリリースづくり 17日(水) 午前9時30分～11時30分 つどいの里
- ★高齢者教養講座 講演:高齢者の交通安全 18日(木) 午前9時30分～11時30分 つどいの里
- ★公民館(成人) 社会見学:トヨタ産業記念館他 31日(水) 午前9時～午後5時